



File
19

http://www.mctaiyo.co.jp

三菱商事太陽株式会社

- 所在地：別府市大字内電1393番地
- TEL：0977-67-3214
- 事業内容：情報処理業務の受託、システム設計、ホームページ制作、DTP、サーバホスティングサービスなど

- 雇用人数：健常者14人 障がい者26人
- 沿革：1983年 会社設立
- 2000年 ISO14001認証取得
- 2005年 ISMS、BS7799認証取得
- 2006年 在宅就労支援に取り組む

障がい者と健常者の「共生」 企業としての「自立」、新たな「企業価値」

現在の障がい者の雇用状況等について

■ 雇用している障がい者の状況

身体障がい者22人(聴覚障がい者を含む)、知的障がい者1人、精神障がい者3人。

知的障がい者は3年前から、精神障がい者は昨年採用。障がい者の平均年齢は37歳、最長は25年間勤務。

別府、大分、国東各市などに在住し、自家用車などで通勤している。結婚している人や一人暮らしなど、自立した生活を送っている人が多い。

■ どんな仕事をしているか

主にパソコンを使ったデスクワークで、システム開発、デザイン、ホームページの制作、ネットワークサーバー・インフラの導入・運用・管理、データ入力、DTPなど。管理職も務める。

健常者と障がい者の区別がなく、能力に応じた仕事、給与体系になっている。勤務時間は障がいの程度にあわせた配慮をしている。



DTPやホームページの製作作業

障がい者を雇用して良かった点

障がい者の雇用率を増やすため三菱商事の特例子会社として設立し、当初から多くの身体障がい者が働いている。いろいろな障がいを持つ人がいることで、皆がお互いのことを理解しあう雰囲気がある。

コメント

■ 障がい者雇用担当者

取締役総務管理部長 山下 達夫さん

障がい者が、明るく、自分の仕事に自信と誇りを持って取り組んでいます。知的・精神障がい者は最近雇用を始めたため、事前にほかの社員の理解を得る努力をしました。

雇用を始めてからは、必ず毎日、あいさつなどの声かけをすることで、変化を早めにとらえ対応しています。本人との対話のほかにも、病院や家族との連携も大切にしています。



■ 現職障がい者

コンテンツ制作チーム 島添 和代さん

データ入力の仕事をしています。昨年はアビリンピック大分県大会のワードプロセッサ部門に出場しました。たくさん練習しました。

目標はデータ入力の件数を増やすことです。会社のイベントは大好きなので、いつも参加しています。



Let's Open up
the future together
OITA
2008

プロセス

STEP 1

■ 雇用スタート時の状況・雇用を始めようと思ったきっかけ

三菱商事の社会貢献活動として、障がい者雇用支援のために設立したこともあり、障がい者雇用を「使命」として取り組んでいる。

社会福祉法人太陽の家と三菱商事が共同出資して、太陽の家の隣接地に開設。障がい者の健康面や生活面のノウハウは太陽の家から、ビジネス支援は三菱商事から受けている。



STEP 2

■ どんな問題点にぶつかったか

設立当時から比べて、ITの技術革新はめざましく進んだが、社員の高齢化や技術習得に時間がかかるなどの面で、変化に対応するのが難しかった。

また、「顧客本位」で考えなければならないビジネスの場面で、同社は障がい者が多く働いているという会社の特徴から、「自分たち本位」の考えが知らず知らずのうちに社内であり、他社との競争に対応が遅れた。

STEP 3

■ それに対してどんな改善策を取り、工夫をしてきたか

仕事の領域を絞り込むことで、必要な技術を厳選して習得するように努力した。「顧客満足を第一に考える」など社内の意識改革などを進めた。

● サポート体制

頸(けい)椎損傷の障がい者など握力の少ない人でも握りやすいマウスを導入したり、建物全体をバリアフリーにするなど、身体障がい者対応した設備を整えている。また知的・精神障がい者が働きやすい環境を作るため、社員のうち2人がジョブコーチとして、随時相談にのり、サポートする体制を整えている。

IT技術を使った業務内容を生かして、在宅障がい者の就労支援にもいち早く取り組んでいる。社員とは別に県内外の在宅の身体障がい者3人と契約。パソコンを使ったデザインやデータ入力などの業務委託をしている。



データ入力作業

社内環境

障がい者の場合病欠が長引く場合があるため、これに対応した休暇を制度化している。社内イベントとしてパーベキュー大会や、一泊の社員旅行を実施。

また障がい者スポーツが盛んで、隣接する体育館でテニスやバスケットなどができる。社員の中にはスポーツの全国大会出場経験者も。障がいを持つ社員が、小中学校に招かれ、自身の体験を講演するなど、職場を離れた場面でも活躍している。

